

令和2年度の広報・広聴委員会の会議について

令和2年度開催予定の広報・広聴委員会の会議については、新型コロナウイルスの感染拡大により全て中止となり、メールにより協議・調整を行った。

経過および協議等の概要については、次のとおりである。

○ 第1回会議（令和2年5月15日（金）広島県大阪事務所で開催予定）

1 経過

4月7日に7都府県を対象として緊急事態宣言が発出されたことなどから、4月14日に中止を決定した。

2 協議等の概要

- ・ 会報108号（9月発行）については、総会が中止になる中で例年どおり12ページとすることとし、誌面構成を決定した。
- ・ 会報109号（3月発行）は例年「全国大会特集号」であるが、大会開催が不透明な情勢であるため、対応を保留することとした。
- ・ 会誌31号（3月発行）の特集テーマの仮題を「コロナ禍とアーカイブズの未来」とすることとした。

○ 第2回会議（令和2年8月7日（金）広島県大阪事務所で開催予定）

1 経過

首都圏や大阪などで感染が急拡大している状況（第2波）を踏まえ、7月22日に中止を決定した。

2 協議等の概要

- ・ 会誌31号の構成や執筆を依頼する者、各委員の役割分担等について調整を進めた。

○ 第3回会議（令和2年10月 全国大会会場で開催予定）

1 経過

7月中旬に全国（仙台）大会の中止が決定されたため、日程未調整のまま中止とした。

2 協議等の概要

- ・ 8月に設置された事業検討チームの検討の結果、会報109号は「公文書館機能普及セミナー特集号」となったことを受け、事務局が調査・研究委員会と調整して編集を進めることとした。
- ・ 会誌31号の進捗状況等について情報共有し、編集作業を進めた。公文書館機能普及セミナーについては従来「アーキビストの眼」欄に掲載していたが、会報がセミナー特集号となったため会誌には掲載しないこととした。
- ・ 会誌の英文目次の著者名のローマ字表記について、官公庁における取扱いの変更を踏まえ、従来の「名一姓」から「姓一名」の順に変更することとした。

以上